

## 令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：福島県北塩原村

協定締結日：平成28年(2016年)3月22日

活動状況：継続中

連携先窓口：北塩原村農林課 班長 遠藤和広 様

活動資金：研究室予算

担当教員(所属)：野口智弘(応用生物科学部食品加工技術センター)

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：入江憲治(国際農業開発学科)、加藤 拓(農芸化学科)

活動目的：北塩原村農産物の活用による地域活性化の取り組み

および本学学生の農業実習派遣

活動内容・成果：

### 1. 国産グランベリー生産の取り組み

国産初のクランベリー生産を目指し、令和3年11月に植え付けを行ったクランベリーの収穫を令和4年10月に行った。初年度の取り組みであったため、収穫量は非常に少ないものであったが、現地の気候においても越冬および結実が可能であることが確認された。

上記、結果を受け11月にさらに新たな株を植え付けた。また、前年度雑草が多く、クランベリーの生育に影響を及ぼしたり、開花数に比べ結実数が少なかったことから、虫による受粉に雑草が邪魔をした可能性が指摘された。このため、株周りに雑草対策の砂やもみ殻を撒く対応をして、雑草が抑制されるか検討を行った。

課題・改善点：

課題として、現地の生産管理を行うに当たり、現地農業法人に圃場の管理業務を委託しているが、国内においてはじめて栽培される農作物であることから教員および学生の訪村が必要である。しかし、圃場が遠方であるため、月に一度の訪問が限界である。また、本取り組みは外部資金等を取得できるような知財がまだ得られていないため、予算的な問題を抱える。早期に外部資金等を獲得できるような取り組みに発展させる必要がある。



【国産初のクランベリー生産を目指す取組み】

